

好間高校図書館生徒支持率アップ大作戦 24!



1 学校の概要

- (1) 所在地 福島県いわき市好間町上好間字上川原 2 5
(2) 学級数・生徒数 6 クラス・1 2 2 名
(3) 蔵書数 1 6, 6 3 6 冊

2 取り組みの概要

- (1) 生徒が本に親しみ、使いやすい学校図書館環境の一層の充実に向けた取組

「つい立ち寄ってみたいくなる図書館づくり」

- ① 図書館の環境整備…堅苦しいイメージのある図書室を居心地の良い空間へ。明るさとカラフルな色使いを心がけ、楽しいながらも落ち着く雰囲気づくりを図書委員と協力して行っています。今年度はソファを設置したことでくつろぎに訪れる生徒が増えました。



- ② コーナーの設置…特定のテーマごとにコーナーを作っており、生徒が本に興味を持つきっかけを作るのと同時に手に取りやすさを意識して設置しています。中でも人気なのが返却本コーナーであり生徒や先生が借りたものに関心を持ってもらえます。また進路コーナーには進路だけではなく社会に出てから身につけたいスキルやメンタルケアの本、家庭問題の本など生徒の役に立ちそうな本を置いています。

コーナーには

- 新刊コーナー
- 展示コーナー
- 返却本コーナー
- 進路コーナー
- 雑誌コーナー
- 新聞コーナー
- 漫画コーナー



- ③ 季節感を大事にした飾りつけ…春夏秋冬の季節のイベントや学校行事を意識した飾りつけで図書室の空気に新鮮さを取り入れています。協力してくれる生徒も多く、みんなで楽しみながら作成してします。



- ④ 新しい情報に溢れる場所…美術館博物館のイベント情報など、生徒の学習活動に役立つ情報の発信ポイントを目指しています。またいじめや家庭の問題、金銭の問題を相談する施設へのアクセスポイント、地元で催される行事や生徒が応募できる賞などの情報も掲示しています。



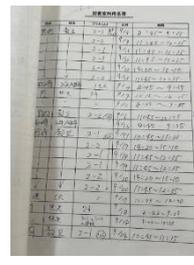
- ⑤ 生徒が本当に読みたい本を探す…本に対する苦手意識が強い生徒が多いのでショートな読み物やライトノベル、漫画も積極的に受け入れています。最近はネット小説や曲や動画から派生した小説などもあるので生徒の好みに合うようにアンテナを広げています。



(2) 学校における読書を通した読書習慣の定着を図る取組

「読書＝難しいものというイメージの払拭・読書をより身近に」

- ① 個人の読書記録カードと読書数ランキングの継続…個人の読書量を記録・公開することで読書意欲の向上を図っています。またハロウィンの時期には本の貸出でお菓子のプレゼント、クリスマスの時期にはスタンプカードに貼られたシールの数で景品がもらえるキャンペーンなどを行っています。
- ② 積極的な授業利用…先生方の協力もあり、授業の時間、自習の時間、総合的探究の時間などで生徒が図書室を利用する時間が多く、借りるまでにはいかないものの空き時間に本を手にする生徒が増えました。また学校行事や就職活動の打ち合わせで図書室が使われる機会も増え日に日に存在感が強くなっています。



- ③ バランスの良い選書で幅広いジャンルをカバー…需要でいうとどうしても物語が多くなってしまいますが、好間高校では先生による小説の寄贈が多いので0～9の分類番号を一回の購入で一つずつ満遍なく購入することができています。また専門的な書籍が増える事で先生方が授業の参考書として利用することも多いので生徒の学習活動に還元されています。

- ④ 図書館だよりの発行で本に興味をもってもらう…図書館だよりは図書委員が発行しており、新刊案内や図書館クイズ、文豪紹介などの原稿を生徒自ら書いています。読書ランキングは生徒やクラスごとの読書量がわかるので読書に関心の強い生徒やクラスの把握に役立ちます。他にも先生によるオススメ本紹介もあり、読書をするきっかけとなっています。



- ⑤ 保健室との連携…保健室にミニ図書コーナーを設置します。生徒の心や体のケアをする本の他に関心の強い占いの本などを置いてリラックスできる空間づくりの一助になっています。
- ⑥ 進路室との連携…生徒のニーズに合わせて進路コーナーを設置しています。また進路室からテキストや大学新聞なども譲り受けています。生徒の将来の選択肢を増やすため、時代に沿った職業の本や大学選びの本、資格の本なども取り揃えています。

(3) 読書活動の質の向上へ向けた取組

「読書のその先へ」

- ① 意見を発信する場に…読書会を行ったところ図書委員に好評だったので今後も活動を続けています。自分の感想を発表する場を設けることで生徒は自分以外の感性に触れることができ、読書活動を通して新たな知見を得ることもできるので、さらに活発に行いたいと思います。

- ② 読むだけではなく書くことも大切に…読書感想文の書き方がわからないという生徒がいるため、参考になるようなプリントを配布し読書感想文の書き方を指導しています。また図書委員は図書館だよりを通して情報発信を行っており、発行を続けるごとに文章力に磨きがかかっています。
- ③ 創作活動の手助けを…利用者の中には小説を書いている生徒も多く、書き物のノウハウ本やアイデア集を要望する声も多かったので文章力を鍛える本を購入しています。また俳句や短歌など国語の授業に合わせて歳時記なども入手しました。
- ④ 自主的な学びを応援する…図書室ではリクエストを募ることで生徒の学習活動を応援しています。韓国語や中国語を習いたい、イラストが描きたい、画集が見たいなど実際のニーズに合わせて購入希望リストに反映させています。

(4) その他、読書活動推進へ向けた取組 4

「多種多様な本が溢れる図書館をめざして活動する」

- ① 教員の寄贈によって支えられる図書館…好間高校は本の寄贈だけで 1,000 冊近い蔵書があります。寄贈本は生徒や教員からも好評であり、幅広いジャンルに接する機会を与えてくれています。
- ② 活発な図書委員会…どんな図書室にしたいかを図書委員で話し合い、目標に向けて一年活動しています。少ない人数で頑張っています。
- ③ CD や DVD などの資料も豊富に…読むだけではなく、聞く・見るための資料も増やしています。読書習慣のない生徒がアクセスしやすい資料、また文面だけでは伝わりにくい内容を揃える工夫もしています。
- ④ いわき総合図書館での POP の展示…生徒が作った POP を毎年飾ってもらっています。新しい本と出会うきっかけになっています。
- ⑤ ブクログの登録…好間高校には本の検索機能がないのでブクログで検索できるようにしました。新刊の告知や保護者に蔵書を知ってもらう目的もあります。



- ⑥ 学校統合に向けて…いわき総合高校さんとの統合を控えて蔵書の整理などを行います。新しい校舎でもなるべく手に取ってもらえるようなバリエーション豊富な選書を心掛けています。また今年度は古雑誌のリサイクルを行いました。